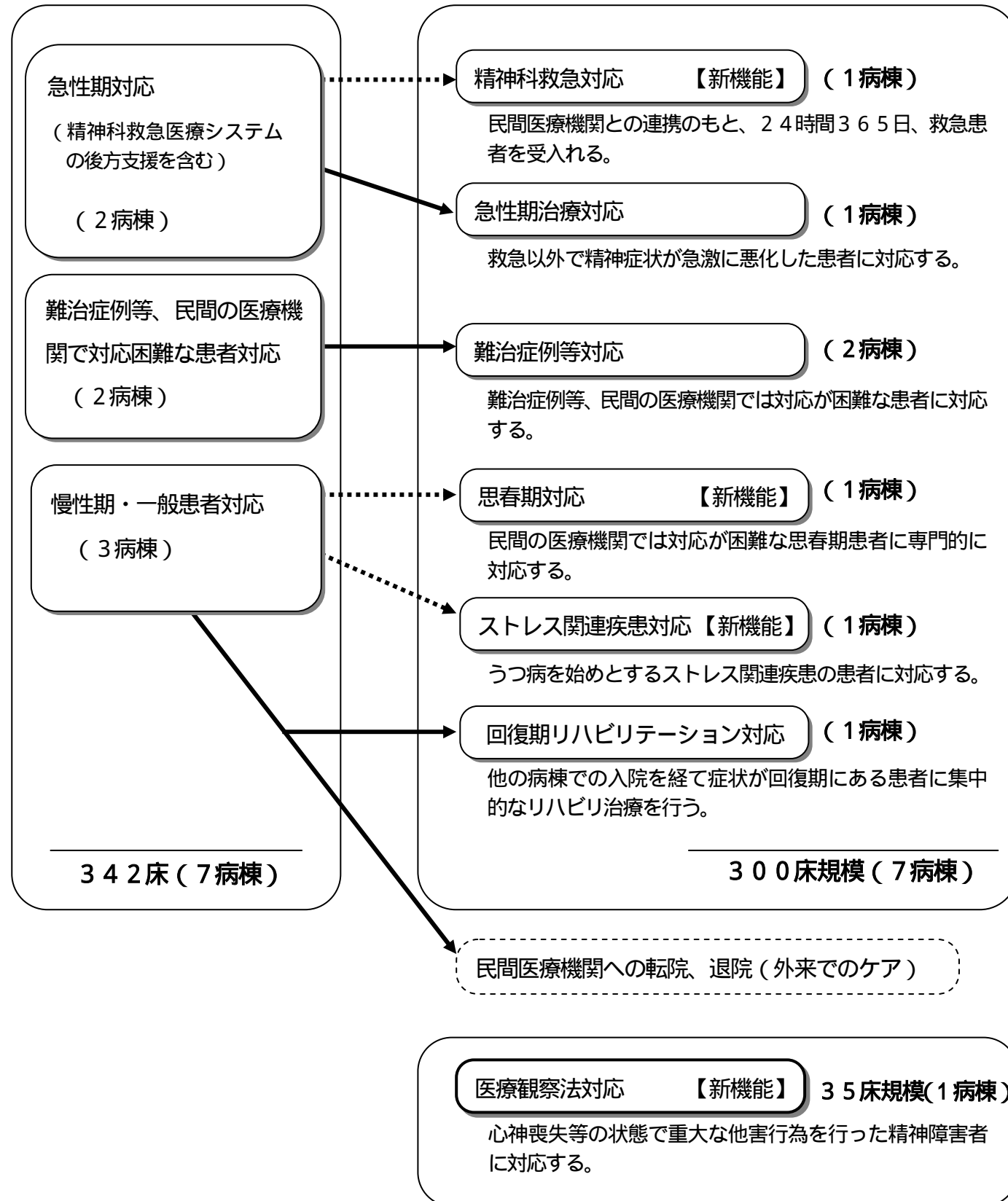


3 機能・規模についての検討結果

【現行の機能・規模】

【新しい城山病院の機能・規模】



4 機能を果たす上での現行施設の問題点

これらの機能を果たすためには、隔離室・個室の増室や救急専用の受付窓口等の整備が不可欠となるが、現行の城山病院の施設は、建設当時の考え方を反映させた大部屋を中心とした構造であり、個室が非常に少ない。大部屋を個室に改修する場合には、病床数の大幅な減少が避けられず、必要とする機能に対応できない。

また、精神科救急に対応する場合、専用の窓口や処置室、導線が必要となるが、これらを新たに設けるスペースがない。

このような構造上の問題には、部分的な改修では対応困難であり、全面的な改築が必要となる。

5 今後の取組

精神科医療に関わる専門家に検討いただいた新しい城山病院の機能・規模について説明し、地元住民の意見を聞いていきたい。